

たんすの なかに いれたもの

2016/2/5 (金) — 2016/3/27 (日)

岩田茉莉江
Marie Iwata

- Things placed in chests of drawers -



奈良町にぎわいの家 つし二階アート展

主催：奈良町にぎわいの家 コーディネート：奈良アートプロム

奈良町にぎわいの家 “つし二階” アート企画

岩田茉莉江 (音風景研究家・おとたまり主宰)

たんすのなかにいれたもの - Things placed in chests or drawers -

会期：2016年2月5日(金) - 2016年3月27日(日)

休館日：水曜 (祝日の場合は変動)

会場：奈良町にぎわいの家内 “つし二階” 開館時間：9:00~17:00 入場無料

ワークショップ「音聴会」(おとときえ) 参加者募集!

にぎわいの家内と近隣を音を聞きながら散策します。講師：岩田茉莉江

2016年3月27日(日) 時間：①10:30~12:30 ②14:00~16:00 定員：各回最大10名 参加無料

①は小学生、中学生のみを対象②は高校生以上の大人を対象 (定員に達し次第締め切り、下記迄お問い合わせください)

奈良町にぎわいの家では、つし二階を舞台とした展覧会の第3期として、岩田茉莉江による『たんすのなかにいれたもの』を開催します。これまで岩田は一貫して聴覚体験を通してあらたな発見を得ようとする活動やワークショップをさまざまなシチュエーションで展開してきました。そこには音の物理的な現象にとどまらず、他者と自己の記憶の交感を目的とした人間一人一人の原風景に近づこうとする作家自身のまなざしがあります。岩田はならまち界隈でのフィールドワークを通し

て出会った人々から、個別に聴いた音にまつわる記憶や体験を収集しました。今回の展覧会では、使われなくなった古い箆笥を個人の記憶や体験を“きく”ための道具として見立て、それぞれの物語を箆笥に“収納”しようと試みます。鑑賞者は引き出しの開け閉めを通して“音をきく”と同時に、他者の記憶の中から掘り起こされ保管された風景に出会うことになるでしょう。ぜひこの機会にご高覧ください。

岩田茉莉江 Marie Iwata



奈良県生まれ。音風景研究家・おとたまり主宰

2003年、沖縄の南大東島で音に魅かれ、こども達と島の音をひろい、南大東島島まるごと館に島民と共に音の展示物「南大東島音たまり」を制作。「海鳴りの聴き方」をテーマに島のサウンドスケープを研究。大阪市立大学大学院文学研究科アジア都市文化学専攻前期博士課程修了。13年間、その地域固有の匂いや景色や音、美味しいものや風を肌で感じるように、五感を使い・ひらきながらその場所を感じ印象付けていく音さんぽを全国で実施。近年は奈良県内のさまざまな場所、土地で出会う音風景の収集とフィールドワークを実施。

website : www.ototamari.net

奈良町にぎわいの家

1917年(大正6年)のまもなく築100年を迎える町家(表屋造)です。二十四節気をコンセプトに、季節を感じながら、手仕事を大切に暮らした昔の時間が、未来につながるような家になりたいです。

ここ奈良町は古いものと新しいもの、人と時代が交わり、心にぎわい、皆が集う場所。次の100年をみなさまとともに。

〒630-8333 奈良市中新屋町5 ☉ 近鉄奈良駅から徒歩13分
tel : 0742-20-1917 ☉ JR 奈良駅から徒歩20分

